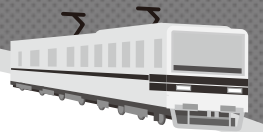




えっ?
敬老乗車証の自己負担が
25%にも?!

公共交通のあり方と 財源を考える



仙台市は突然、敬老乗車証の自己負担を25%へ引き上げる方針を発表しました。そもそも仙台市には十分な財政力があるのに福祉予算は少なく、政令市最低レベルです。更なる拡充こそ必要なのに、利用者へ負担を強いる方針に市民から不満と怒りの声が上がっています。

地域の足としての公共交通のあり方、財源とその使い道について、一緒に考えてみませんか。みなさま、ぜひご参加ください。

講師

西村 茂さん

(金沢大学名誉教授)

《講師紹介》

1953年生まれ。名古屋大学卒。金沢大学法学部助教授・教授を経て現職。自治体問題研究所理事。フランスの地方自治を中心に研修し、近年は日本と海外の地域公共交通の状況調査などもされています。著書に『長寿社会の地域公共交通-移動をうながす事例と法制度』、『住民がつくる地域自治組織・コミュニティ』など多数。



参加費
無料

日時

12月5日(火)

午後2時~4時

場所

戦災復興記念館

4階研修室 仙台市青葉区大町2丁目12-1

<プログラム>

- 開会のあいさつ
- 「公共交通の財源について：交通税・無料化から考える」
西村 茂さん
- 日本共産党仙台市議団からの報告
花木則彰 市議団長
- フロアからの発言・質問・意見交換
- 閉会のあいさつ